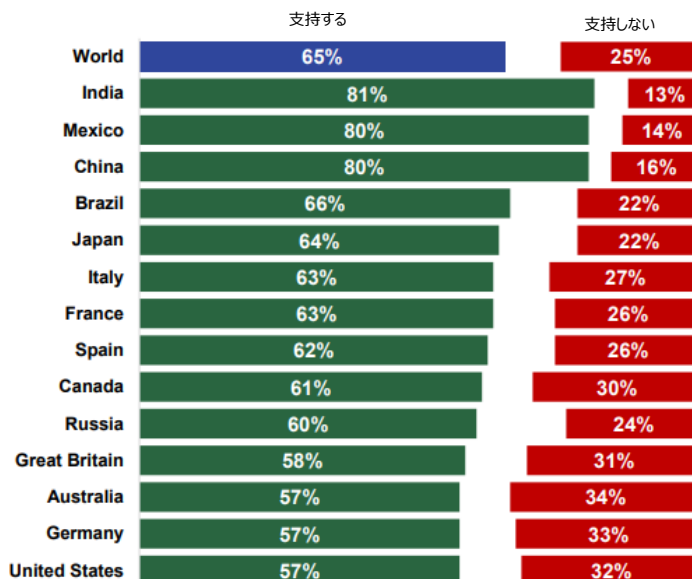


■ グリーンリカバリーの高まり

○ コロナ危機からの経済のグリーンリカバリーに対する支持

コロナ危機からの経済回復において、「グリーンリカバリー」の考え方を支持する意見が世界全体で65%となっている。



※出典：Ipsos (2020) 「Two thirds of Britons believe Climate Change as serious as Coronavirus and majority want Climate prioritised in economic recovery」より作成。

○ ESG 投資が加速

機関投資家だけでなく個人にも広がるなど、環境、社会、企業統治といった非財務面の要素も考慮した動きの高まり（右図）。

機関投資家に加えて個人の投資も拡大している。

※日本におけるESG投資（今年1月から9月）は前年比で13倍となっている（10/17日経）。



○ 融資に対してCO₂排出の削減を求める動き

フランス政府は航空会社エールフランス-KLMへの融資に対して短距離便の縮小と2024年までのCO₂排出量の5割削減を要求（令和2年5月）。

■分散型社会・ネットワーク社会

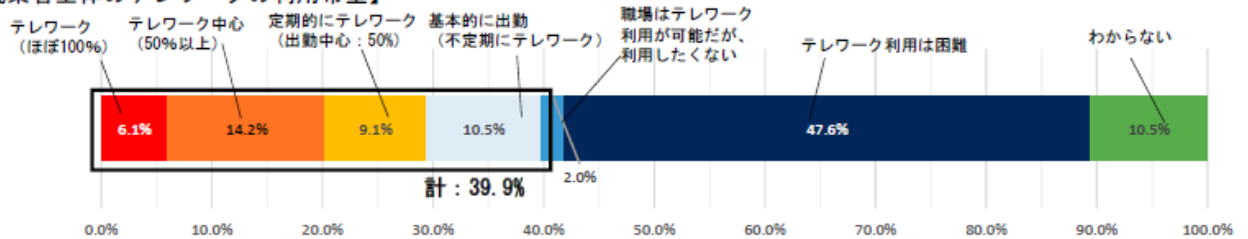
○テレワークの定着

今後ともテレワークを中心として利用したいとの回答が約4割。

大企業では、テレワークの状態化など働き方に変化が生じている。

質問 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用してみたいですか。

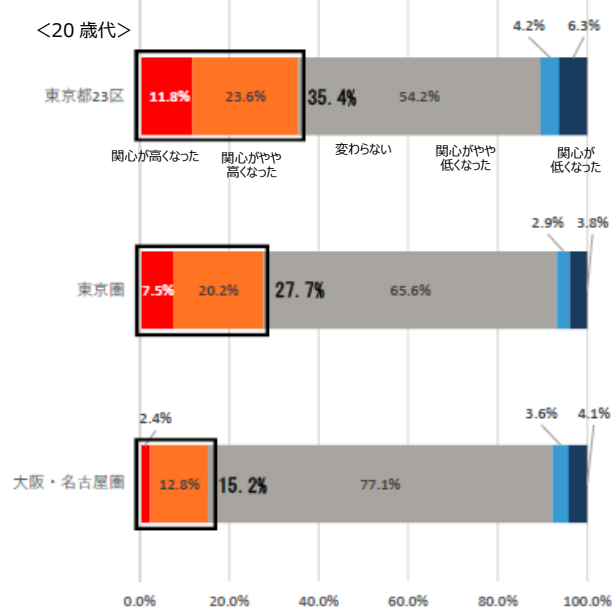
【就業者全体のテレワークの利用希望】



○地方移住・オフィスの分散化への意識の高まり

若い世代では地方移住の関心が高まっている。

また、事業継続計画（BCP）対策として、オフィスの分散化の動きも確認されている。



○オンライン授業の進展

オンライン授業の受講は、大学生・大学院生では約95%。

質問 通学している学校で、オンライン授業を受講しましたか。

